

# 1年1組 道徳学習指導案

場所 1年1組 教室

授業者

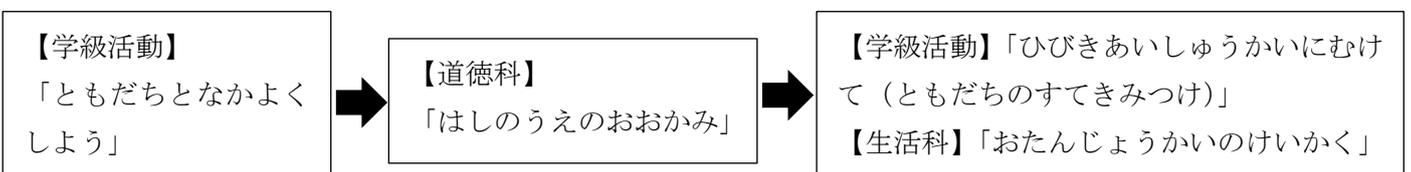
- 1 主題名 やさしいころ
- 2 内容項目 B 親切 思いやり
- 3 教材名 「はしのうえのおおかみ」〈出典：光文書院〉
- 4 主題構成表

<p><b>■内容項目</b> B 親切、思いやり 身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。</p>	<p><b>■価値の分析</b> ・思いやりとは、相手の気持ちや立場を自分のことに置き換えて推し量り、相手に対してよかれと思う気持ちを相手に向けてやる気持ちが強くなれば、自然と励ましや援助、温かく見守るような親切な行為が生まれる。 ・自己中心性が残る低学年の子どもが、相手の立場や気持ちを推し量り、親切な行為をしようとする心情をもつために、子ども自身が他者から思いやりのある行為を受けた時の心地よさや嬉しさを想起したり、実感したりすることが必要と言える。 ・人との関わりは年齢が上がるとともに範囲が広がってくるので、低学年においては、まず「身近にいる人」に対して、温かい心で接し、親切にする行為から、その対象をすべての人へと広げていく必要がある。</p>	<p><b>■教材の分析</b> ・前半の場面では、自分よりも弱い動物たちに意地悪をしているおおかみを動作化することで、意地悪を楽しんでいい気持ちになっているおおかみの気持ちに共感させる。 ・体も力も強いくまがおおかみに対して少しも威張らずに親切にする場面では、役割演技を通して、優しくされて嬉しくなったおおかみの気持ちの変化に気付かせたい。 ・くまの思いやりの心に触れたことで、親切にすることのよさに気付いたおおかみが、今度はうさぎを抱き上げて橋を渡している場面では、親切にすることは、相手も自分も嬉しい気持ちになることに気付かせたい。そして、友だちや自分よりも幼い子に対して親切にしようとする気持ちを育てたい。</p>
---	---	---

**■ねらい**  
親切にすることは相手が喜ぶだけでなく自分も嬉しくなることに気付き、身近な人や自分より幼い子に対して温かい心で接し、親切にしようとする態度を育てる。

<p><b>■展開の構想</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分よりも弱いうさぎたちに意地悪をしているおおかみを動作化し、おおかみの気持ちに共感させることを通して、優越感にひたっている気持ちを捉える。</li> <li>・思いがけずくまに親切にされたおおかみの気持ちを考え、優しくされて嬉しくなったおおかみの気持ちの変化に気付かせる。</li> <li>・くまのようにうさぎに親切にするおおかみの役割演技をすることで、親切にするよさについて考え、価値理解に迫る。</li> <li>・これまでの生活を振り返り、教師や家族の話から、身近な人に親切にしていこうとする気持ちを高める。</li> </ul>	<p><b>■基本発問（◎中心発問）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○うさぎたちに「もどれ、もどれ。」と言ったおおかみはどんな気持ちだったでしょう。</li> <li>○くまに「こうすればいいのさ」と言われて、橋を渡らせてもらったおおかみはどんな気持ちだったでしょう。</li> <li>◎くまのまねをして、うさぎを抱き上げ橋を渡しているおおかみは、どんな気持ちになったでしょう。</li> <li>○自分から友達や小さい子に親切にして、嬉しかったことを振り返りましょう。</li> </ul>
---	---

## 5 他の教育活動との関連



6 本時の展開

	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助
導入	<p>1. アンケート結果をもとに、本時考えたいことをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>やさしくすると、どんなきもちになるだろう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親切にしたり、親切にされたりしたことがあるか、どういう親切だったかを聞かれたアンケート結果から、価値への方向付けをする。</li> </ul>
展開前段	<p>2. 「はしのうえのおおかみ」を範読する。</p> <p>○うさぎたちに「もどれ、もどれ。」と言ったおおかみはどんな気持ちだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うさぎさんたちが怖がってもどっていくのは面白いな。</li> <li>・いじわるは楽しいな。いい気持ちだ。</li> <li>・おれは強いんだぞ。もっとおどかしてやろう。</li> </ul> <p>○くまに「こうすればいいのさ」と言われて、橋を渡らせてもらったおおかみはどんな気持ちだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・追い返されると思ったのに。</li> <li>・くまさんに親切にされて嬉しいなあ。</li> <li>・くまは強くて得意地悪しない。優しいな。</li> <li>・ぼくはうさぎさんたちに悪いことしていたんだなあ。</li> </ul> <p>◎くまのまねをして、うさぎを抱き上げて橋を渡しているおおかみは、どんな気持ちになったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うさぎさん、この前は得意地悪してごめんね。</li> <li>・うさぎさんが喜んでているのを見るのは嬉しいな。</li> <li>・得意地悪するよりも、ずっといい気持ちだ。</li> <li>・優しくするとなんだか気持ちがいいな。</li> <li>・これからは、みんなに橋渡しをしてあげよう。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>じぶんからやさしくすると、あいてもじぶんもうれしくなってきもちよくなる。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用</li> <li>・おおかみがうさぎを追い払う様子を動作化させ、得意地悪を楽しんでいい気分になっているおおかみの気持ちに共感させる。</li> <li>・自分の思いとは違って、自分より力の強いくまに優しくされて嬉しくなったおおかみの気持ちの変化に気付かせる。</li> <li>・うさぎを抱き上げて橋を渡す役割演技を通して、親切にすることを心地よく感じているおおかみの心情に浸らせる。</li> </ul> <p>深めの発問</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>○いじわるをしていたおおかみは、どうしてかわったのだろう。どんなところがかわったのだろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・くまの思いやりの心に触れたことで、親切にすることのよさに気付いたことをおさえる。</li> <li>・うさぎに得意地悪をして自分だけが気持ちよくなった時と比べ、うさぎに対して親切にすることで、相手も自分も嬉しくなっている気持ちになったことに気付かせる。</li> </ul>
展開後段	<p>3. 価値把握をもとに、自分の生活を振り返る。</p> <p>○自分から友達や自分より小さい子に親切にして、嬉しくなったり、気持ちよくなったりしたことを振り返りましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達が転んだ時、「大丈夫?」と言って保健室に一緒に行った。お礼を言われて嬉しかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の日常の様子に関わる場面を提示し、他者と関わる具体的な場面を想起できるようにする。</li> <li>・親切にした相手の言葉や表情から、相手も嬉しく感じていたことに気付かせる。</li> </ul>
終末	<p>4. 教師の説話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者が書いた、身近にいる人に対する児童の親切にできた行為の「すてき見付けカード」を各自で読む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親切にできたことのよさを実感し、親切にする意欲を高める。</li> </ul>